

北町中学校・北町小学校・北町西小学校

中学校区の特徴

- ・3校とも敷地が離れ、ある程度の距離がある。
- ・進学する中学校が北町中学校だけではなく他の学区にもまたがっている。
- ・これまでも部活動体験などの小中交流を行ってきた。

目指す児童生徒像

- ・自己肯定感を高め、自分に自信をもち、様々な活動に積極的に取り組める児童・生徒
- ・小学校から中学校への環境の変化に適応できる児童・生徒
- ・北町中学校区の地域を愛し、地域のために率先して活動できる児童・生徒

I 小中一貫教育の推進

1 目指す児童生徒像の具現化に向けた取組

(1) 学習指導分科会

- ・課題改善カリキュラムの作成（体育）
- ・課題改善カリキュラムの検証・修正（国語）
- ・リトルティーチャー
- ・外国語の出前授業
- ・授業見学

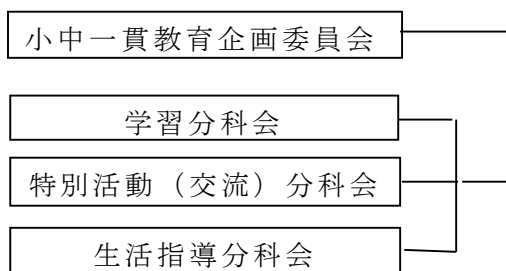
(2) 特別活動（児童・生徒交流）分科会

- ・課題改善カリキュラムの検証・修正（特別活動）
- ・児童会・生徒会交流
- ・合同あいさつ運動
- ・学校だより等の交換（掲示コーナーの設置）

(3) 生活指導分科会

- ・生活のきまりスタンダードの定着
- ・児童・生徒の情報交換
- ・部活動体験

2 教育プラン推進のための推進組織



主な予定（年間計画）

4月	4日	第1回北町中学校区別協議会（北町中）
6月	21日	第2回北町中学校区別協議会（北町中）
11月	11日	第3回北町中学校区別協議会（北町小）

II 実践校の特色ある取組

1 成果と課題

(1) 学習指導分科会

夏休みの各小学校の補習授業に中学生がリトルティーチャーとして参加した。小学生は、分からないことを気軽に質問し、個別に指導してもらえることで、苦手分野の改善が見られた。中学生にとっては、自分が教えることでできなかったことができるようになる小学生の姿を見ることができ自己有用感を高めることにつながった。またキャリア教育にも良い影響をもたらす機会となった。

課題改善カリキュラムは、今年度から体育を設定した。投力（巧緻性）に小中ともに課題があると判断し、『球技の基礎・基本を定着させる取組』が始まった。国語は、昨年度作成したものの検証を進めた。文章読解力を身に付けるための言語活動（基礎基本）の充実を図る取組において、重点指導を共通して指導していくことを確認した。

(2) 特別活動（児童生徒交流）分科会

7月に代表委員会・生徒会が集まり、あいさつ運動のパワーアップ会議を行った。9月のあいさつ運動を盛り上げるための工夫を話し合い、小学校、中学校それぞれの考えを共有し、取り入れられるものは各学校で採用していくことを確認した。

(3) 生活指導分科会

SNSルールの見直しと児童・生徒への指導および保護者への注意喚起が必要不可欠であることを確認した。部活動体験は、今年度残念ながら臨時休校のため中止となったが、中学生が小学6年生の質問に答えた質問集を中学生からいただいた。中学校生活の行事や部活動や勉強のことについて、楽しさや親しみを伝えることができた。

III 今後の取組

- ・今年度の取組が来年度も継続できるよう年間計画に盛り込むこと
- ・課題改善カリキュラムの新たな教科を決めること



リトルティーチャー



パワーアップ会議



小中合同あいさつ運動